

八戸市の経済効果等の分析フロー図

B級ご当地グルメに関する活動

- 平成15(2003)年11月 八戸せんべい汁研究所設立
- 平成18(2006)年2月 第1回B-1グランプリを開催
- 第2回(2007年)～第4回(2009年)B-1グランプリ 連続第2位
第5回(2010年) 第3位

広告・宣伝活動
(新聞、テレビ等報道関係)

観光客等入込客数の増加

市民

一般家庭における消費増

飲食店における売上増
【商業の生産増】

土産の増加
(土産店の売上増)
【商業の生産増】

せんべい汁用せんべいの生産増
【食品製造業の生産増】

宿泊需要の増加
【対個人サービス業の生産増】

市内交通の利用の増加
【運輸業の生産増】

産業連関表を用いた経済波及効果分析

直接効果の推計

- 飲食店におけるせんべい汁の売上増(商業マージン)
- 土産品店におけるせんべい汁関連商品の売上増(商業マージン)
- せんべい汁用せんべいの生産増
- △宿泊事業者の売上増
- △交通関連事業者の売上増

投入構造の分析 (せんべい汁せんべい)

- 主要な財・サービスの項目
- 上記の市内調達率
- 雇用者数(雇用者所得)

間接一次効果の推計

各事業者の生産活動が原材料等の調達を通して他産業の生産増を誘発

間接二次効果の推計

各事業者の雇用者所得増が消費増加をもたらし、それがさらに他産業の生産増を誘発

青森県産業連関表「逆行列表」(平成17年)
八戸市産業連関表「逆行列表」(平成17年)

経済波及効果のまとめ

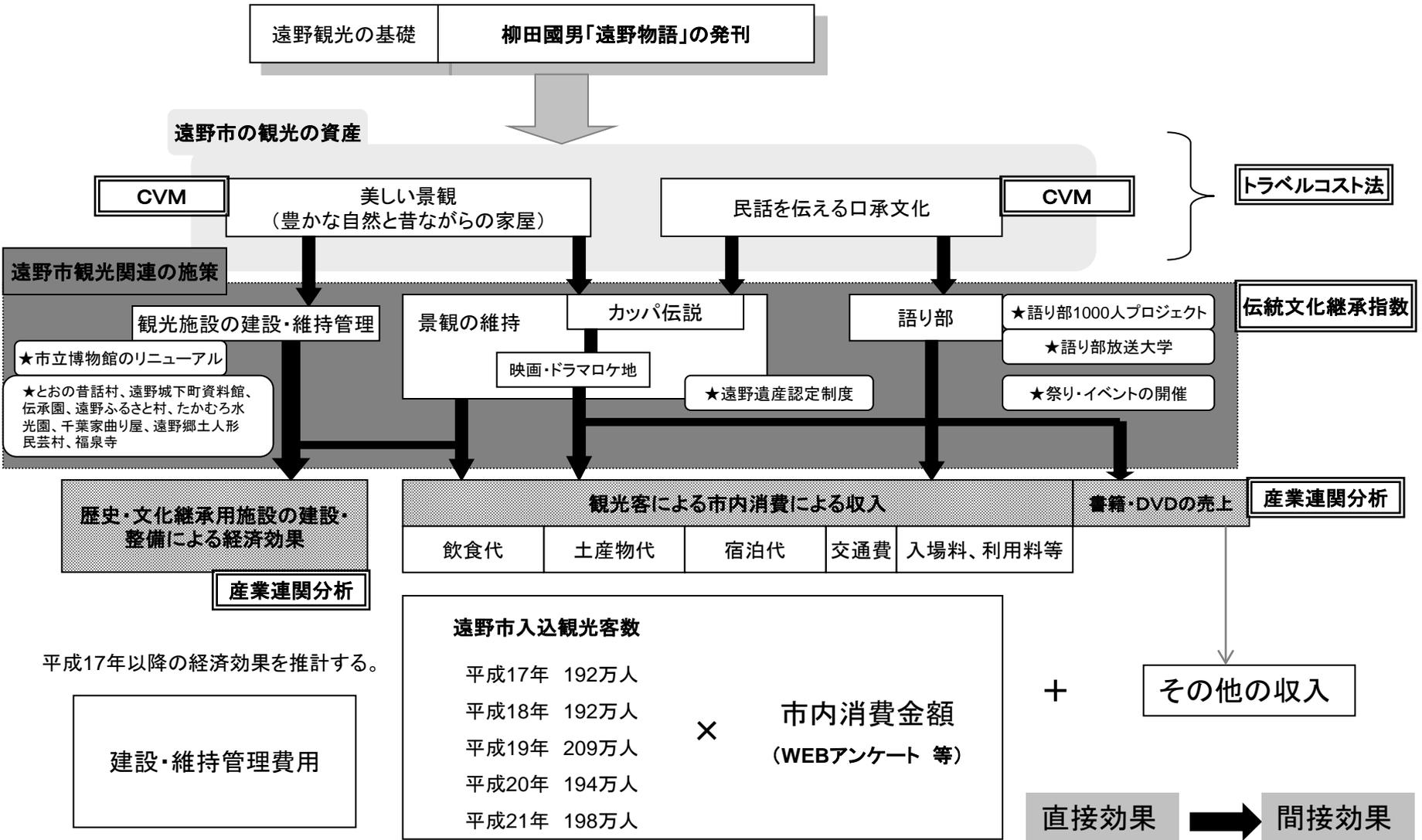
総効果 = 直接効果 + 間接効果(1次、2次)

生産誘発係数 = 総効果 / 直接効果

効果の項目

- ・生産額ベース
- ・付加価値額ベース
- ・雇用者ベース

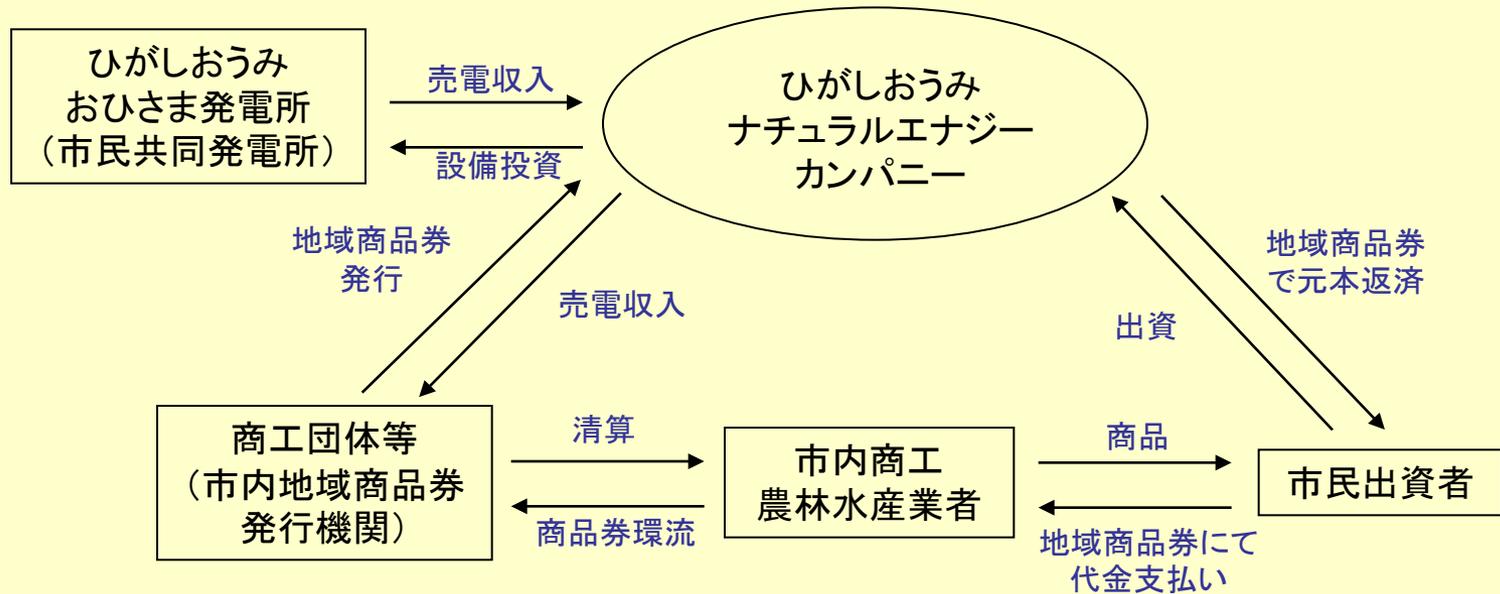
遠野市の経済効果等の分析フロー図



平成17年以降の経済効果を推計する。

建設・維持管理費用

ひがしおうみモデル概念図



<市民共同太陽光発電事業の概要>

- 太陽光発電を設置出来ない人(賃貸マンションに住んでいるの設置スペースがない人など)でも実質的に太陽電池を持つことができる。
- 償還期間中は、あくまでも出資金の元本の返済が地域商品券で行われている。
- 設置している太陽光発電設備の消費電力が極めて少ない為、実質的に、全量買取に近い状況となっている。
- 太陽光発電設備は市内にある京セラ(市内の京セラの販売店)から調達している。パネルの設置も市内企業が行う。

<地域商品券の発行額について> (2号機のケース)

【参加者募集】

1口:10万円 参加者:30名

【設備購入】

300万円の太陽電池設備(4.4kw)を購入

【償還期間の設定】

15年で償還

【地域商品券の発行額(年間)】

年間発行額: $3,000,000円 \div 15年 = 200,000円/年$
 1人当たりの発行額: $200,000円 \div 30人 = 約7,000円$

<年間の売電収入>

年間の発電量: $4.4kw \times 1,000kwh = 4,400kwh$

年間売電収入: $4,400kwh \times 48円/kwh = 211,200円$

初期条件について

システム価格

| システム価格 (万円/kw) | 機器価格 (万円/kw) | 設置工事費 (万円/kw) | 備考 |
|-------------------|-----------------|------------------|-----------------|
| 50 | 40 | 10 | システム価格が5年間一定と仮定 |

電力買取価格

| | 買取価格 (円/kwh) | 備考 |
|------|-----------------|-------------------------|
| ケースⅠ | 48 | ・買取価格が5年間一定と仮定(48円/kwh) |
| ケースⅡ | 24 | ・買取価格が5年間一定と仮定(24円/kwh) |

設置台数

| | 設置台数 (台) | 備考 |
|------|-------------|---|
| ケースA | 400 | ・毎年400台(全世帯の1%に相当)の太陽電池を設置すると仮定 |
| ケースB | 1,000 | ・毎年1000台の太陽電池を設置すると仮定 ・「全量買取制度が始まれば太陽電池の導入件数は年間1,000件程度になると予想される」(ヒアリング調査より) |

※メンテナンスについて

太陽電池の定期点検については、1年目(無料)、4年目、8年目(ともに2万円)に必要。定期点検をすれば、10年間無償保証。

【電力買取価格:ケースⅠ、設置台数:ケースA】

①太陽電池設備の生産

$4\text{kw} \times 40\text{万円/kw} \times 400\text{台} = \mathbf{640\text{百万円}}$ (年間)

②設置工事

$4\text{kw} \times 10\text{万円/kw} \times 400\text{台} = \mathbf{160\text{百万円}}$ (年間)

③メンテナンス

$2\text{万円} \times 400\text{台} = \mathbf{80\text{百万円}}$

※5年間で考えた場合、メンテナンス費用は以下のように考える。

- ・初年度設置設備→4年目メンテ費用発生
- ・2年目設置設備→5年目メンテ費用発生

④地域商品券の発行

$200,000\text{円/台} \times 400\text{台} = \mathbf{80\text{百万円}}$ (年間)

フロー図

